

# ゆりだより



## <交通教室>

指導員さんの講話を聞いた後、園外に出て歩行訓練を行いました。道路の歩き方や横断歩道の渡り方など、学んだことを思い出したり意識したりしながら歩く姿が見られました。どの子も少し緊張しながらも、真剣に参加していました。これからも園外保育などで歩く経験を繰り返し、就学に向けて交通ルールを自分で意識しながら歩くことができるようにしていきます。御家庭でも就学までに通学路を歩き、危険箇所を把握してみてください。



## <秋の遠足>

雄踏総合公園まで長い距離を歩いて行きました。疲れも見られましたが、公園まで辿り着くと達成感を感じているようでした。グループの友達とふれあい遊びをしたり、どんぐりなどの木の実を探したりしました。また、普段の自由遊びの中で、拾ってきた木の実を使い、工夫しながらどんぐり転がしなどを作って楽しんでいました。どうしたら上手く転がるのか考え、失敗を繰り返しながらも諦めずに取り組んでいました。イメージを形にしていく面白さを感じることができたようです。



## <異年齢交流>

たんぼ組の友達が遊びに来ることを伝えると、一緒に遊べるようにどんぐり転がしを作ったり、どのようにお世話をしたら良いのか話し合ったりして楽しみにしていました。交流会当日は、作った物と一緒に遊んだり、絵本を読んであげたりして、優しく声を掛け、寄り添おうとしていました。異年齢との交流の中で、年長児としての自覚が育ち、自分ができることをしようとする姿が見られるようになってきています。



## <大道具・小道具作り>

劇に必要な物をクラスの友達と話し合いながら作りしました。「キャンディーを売るお店屋さんを作ろうよ!」「木があったらもっと素敵になるんじゃない?」などと意見も出て、自分たちで進める姿が見られました。作った物を使ったり、友達と一緒にセリフや踊りの振付を考えたりすることで、みんなで劇を作り上げる楽しさを感じられるようになっています。



## <落花生収穫>

森田さん(保護者)の御厚意で、落花生の収穫をしました。廊下に掲示した写真や実物、絵本を見て、とても楽しみにしていた子どもたち。引っ張って抜いた先にたくさんの落花生がついていると大喜びで、「見て!こんなにたくさん!」と嬉しそうに見せてくれました。収穫を通して、作物を育てる仕事をしている方がいることや、落花生の実が実際にどのようになっているのかを知ることができました。



## <10月誕生会>

「やおやのお店」の歌に合わせて、誕生児が言った野菜の文字の数の人数を集めるゲームをしました。また、『言ったのが野菜ではない物だったら男の子と女の子で手をつなぐ』など、子どもたちと一緒にルールを考えながら遊びました。いろいろなルールができ、一生懸命考えたり子どもたち同士で教え合ったりしながら楽しんでいました。